

健康長寿と ホタル飛び交う ふるさとをめぐって



山浦まち協だより

令和3年度 6月号

2021.6.14 発行

編集 山浦地区まちづくり推
進協議会

山浦地区の人口 519人

男性 236人

女性 283人

世帯数 197戸

(R3.5月末現在)



6月2日、山香こども園山浦分園の園児10人が、地元の方の畑を借りて、さつまいもとトマトとカボチャの苗を植えました。岩尾山香こども園理事長も参加して、民生児童委員4人の協力をいただきました。秋には収穫祭を行い、地元の高齢者、民生児童委員と焼き芋や石垣餅を作る予定です。



会長あいさつ

会長 阿部 信秀

田植えも終わり、初夏の風にすがすがしさを感じる季節となりました。しかし今年は新型コロナウイルスの感染防止により、総会を開くこともできず、心苦しく思いながら議案書回覧による「持ち回り総会」とさせていただきました。回覧の結果、引き続き会長として4期目を務めさせていただくことになりました。

行事を通してコミュニケーションの場を作り、皆様がふれあえる場となる行事を今年度も計画しております。未だコロナ禍にある中、変異株等心配ではありますが、状況をよく見て判断によっては中止や縮小、安全を考慮しつつ実施となりますがご理解ください。

これからも地域の安全を維持し、安心して暮らせる街づくりを目指し活動してまいります。役員一同で精一杯がんばりますので、前年同様に皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



各部長あいさつ

福祉・防災部 部長 糸長 広輝

地域で出来る防災意識の啓発と日常生活での困りごとなど、皆様の声を聞きながら活動をしていきます。健康教室、趣味の会も間もなく開催のご案内を予定しています。ご自身の健康づくりや地域の親睦を図る活動に皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ご意見、ご要望がございましたらコミュニティセンターまでお寄せいただきますようお願いいたします。

地域産業部 部長 緒方 薫

山浦地区は、杵築市内で最も人口減少率が高く、5月末の人口は519人ですが、2045年(24年先)の国の人口推計では180人となっています。現在、10人で行っている集落や地区の活動等を3.5人で行うような事態となります。山浦出身者で地元に戻って働きたい方や移住者等の流入人口を増やすことが地区存続の課題であるとの思いから、通行量が多い県道沿線の農地にレンゲを播種し、水田の地力増強と環境美化を進めることにより、イベント開催時を始め、普段より多くの方々を訪れるような環境づくりに努めます。

また、3か年の取り組みの成果である地域資源を活用し、商品化された野草茶等の供給体制の確立と販路の拡大、今年度より取り組む山村振興事業による荒廃竹林等の加工品の商品化に向け、旧山浦小学校校舎を拠点施設として改修し、利用する取り組みを支援してまいります。皆様に於かれましては、次世代の後継者のために、20年、30年先を見越した建設的なご意見、ご協力を切にお願いします。

地域間交流・社会教育部 部長 緒方 恭二

軽スポーツ等を通しての住民同士の交流や、児童・生徒のふれあい活動が主体の当部会にとって、昨年度は新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの行事が中止を余儀なくされました。

本年度もまだまだ活動が制約される状況ではありますが、感染防止に細心の注意を払うとともに、開催方法を工夫しながら、屋外での行事実施を基本に取り組んでいきたいと思っております。

感謝状の贈呈式

6月10日、山浦地区コミュニティセンターにおいて、ご家族の香典返しとして寄附を頂きました大石公範様(原)と、茶道具を寄贈して頂きました佐藤洋子様(飛松)に阿部信秀会長より感謝状の贈呈を行いました。お二方よりお礼のご挨拶をいただきました。

新型コロナウイルスが終息しましたら、寄贈して頂いた茶道具を使いお茶会を開催したいと思っております。



卒業記念品の贈呈式

3月29日、山浦地区コミュニティセンターにおいて、阿部信秀山浦地区育英基金運営委員長より、小学生4人、中学生3人に卒業記念品として図書券の贈呈を行いました。児童生徒を代表して山香中学校3年の工藤吏空君よりお礼のことばがありました。



山浦地区育英基金について

山浦地区在住の児童生徒の健全育成をめざし、ふれあい体験活動や見守り活動等を行い、社会有用の人材を育成することを目的として、奥平弥太郎氏、岩尾徹氏、渡辺達男氏の奨学金と岩尾萬藏氏寄贈の学校林の売却益金を育英基金として、平成28年4月に設立された。

岩尾萬藏氏 明治21年(1927)山浦本篠に生まれる。家に不幸が相次ぎ貧困な生活を送る。21歳の時に大阪に出て、阪急各駅で構内新聞、雑誌販売事業を興し、徐々に事業を拡大し大阪実業界に名をなす。

昭和11年、山浦小学校改修費及び小学校基本資産として学校林を寄贈する。また、図書購入費を贈り校内に岩尾文庫が特設される。

昭和16年10山浦村議会の議決により「稀にみる成功者にして青年の亀鑑なり」の頌徳碑が山浦小学校運動場の側に建立された。



配食サービス活動の紹介

6月4日、新型コロナウイルスにより会食サービスが出来ないため「かけ橋クラブ」の皆さんが、12人の利用者の安否確認も兼ねて、一人ひとりにお手紙を添えて「おやつ」の配食サービスを行いました。受け取られた方は「皆さんに会えず寂しかったところにこんな「おやつ」をいただきとてもありがたい」と感謝のお礼をいわれていました。「かけ橋クラブ」では今後もコロナの状況に応じて、このようなサービスを継続していきたいとのことです。



社協山浦担当2年目(生活支援コーディネーター)の業務紹介

■生活支援コーディネーターは(別名「地域支え合い推進員」とも呼ばれる)

厚生労働省が段階的に取り組んでいる「医療と介護制度の改革」として「医療から介護へ・施設から在宅へ」というテーマをもとに、住み慣れた地域で自分らしく生活し続ける取組とされています。その背景として、2025年には、1950年代に生まれたベビーブーマーの人たちが一斉に後期高齢者となりその人口約30%を占めることが予測され、介護費・医療費負担もこれまでに大きくなることが懸念されています。

☞役割

- ①地域で多様な取組のコーディネート機能を担う(支え合い・助け合いを広げる)
- ②資源開発・ネットワーク構築・ニーズと取組のマッチング

会食支援の名称変更「ワンコイン(500円)食堂やまうら」

皆さん、こんにちは!毎月第2・4金曜日に開催しています「300円食堂うらら」も3年を迎え活動してきましたが、今回、名称を「ワンコイン(500円)食堂やまうら」と変更させて頂きました。地元産のお米や四季に合った野菜を中心にヘルシーな食事を提供させて頂いています。

また、山浦産の「野草茶」も使用して健康に気遣っていることに、利用者の方々より好評を頂いています。これからも、スタッフ一同アイデアを駆使しながら皆さんに楽しい一時を過ごして頂けるよう頑張っまいります。なお、利用する際は、事前予約が必要となりますのでお気軽にお問合せくださいませ!



連絡先: 代表 甲斐 和美
電話番号: 78-0538

「もってえね〜」BOXからお礼とご協力のお願い!

3月から5月までに皆さまより寄せて頂いた食材などを杵築市内の生活困窮者へ配布させて頂きました。提供者を以下の通りご紹介させて頂きます。

暖かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

・佐藤弘文様(洗剤)

新型コロナウイルス感染がまん延していますので、生活困窮者も苦慮されています。まだ、継続していますのでよろしくお願いいたします。

〜 「フードバンク事業(もってえね〜BOX)」 〜

○今後の行事予定

7月4日(日) のろよこいグラウンドゴルフ大会 8:30〜 山浦グラウンド